

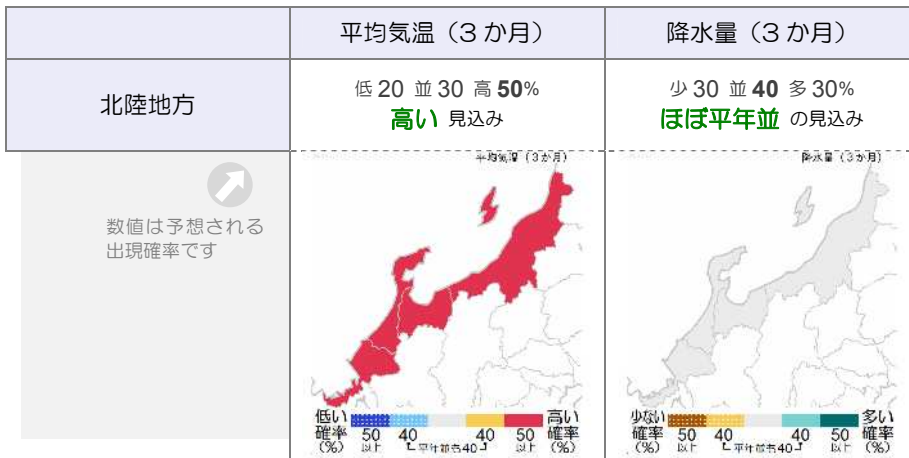
向こう3か月の天候の見通し 北陸地方 9月～11月

新潟地方気象台

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう3か月の気温は高いでしょう。

3か月の平均気温・降水量

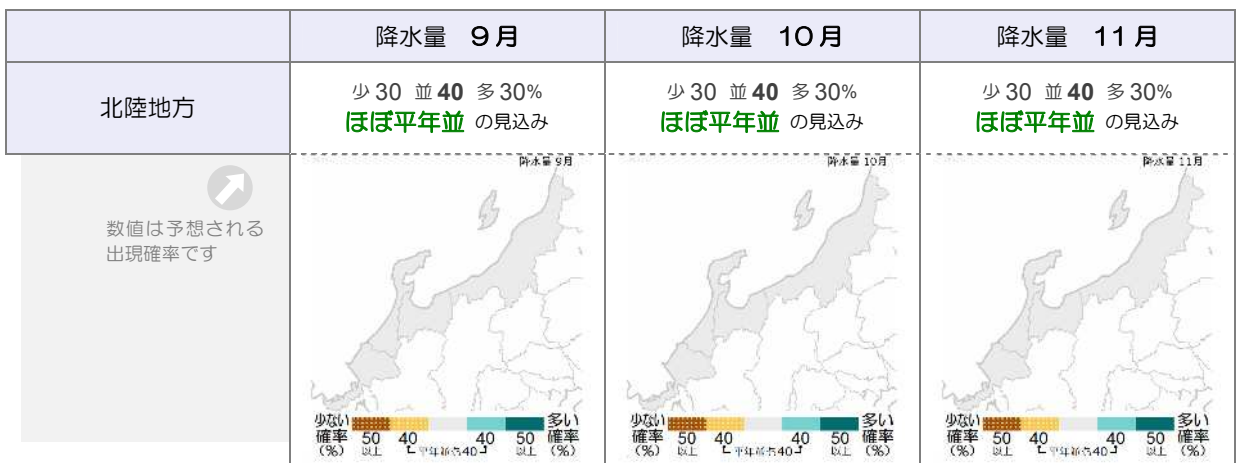
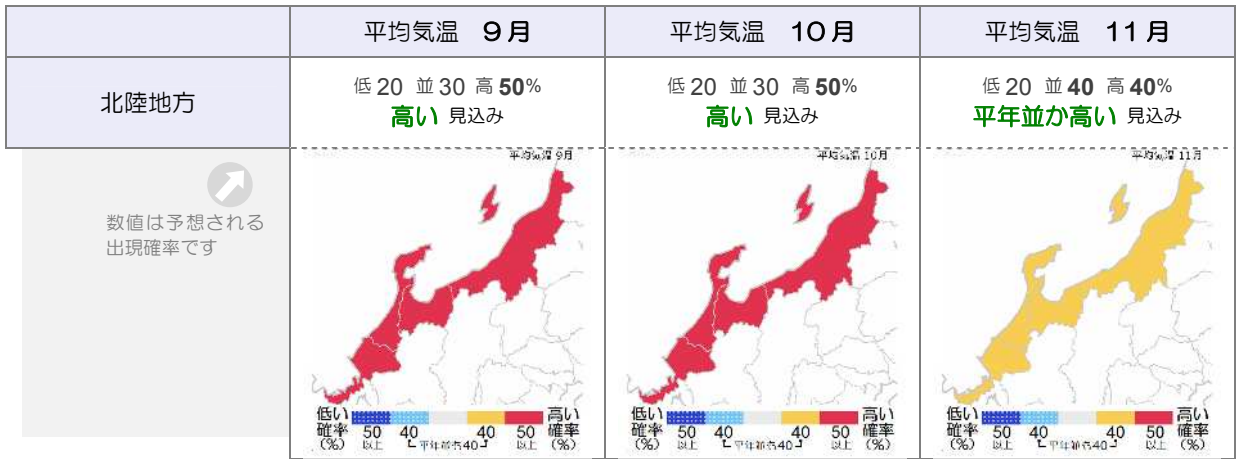


月別の天候

9月	10月	11月
高気圧と低気圧が交互に通過し、平年と同様に天気は数日の周期で変わってでしょう。	高気圧と低気圧が交互に通過し、平年と同様に天気は数日の周期で変わってでしょう。	気圧の谷や湿った空気の影響で、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

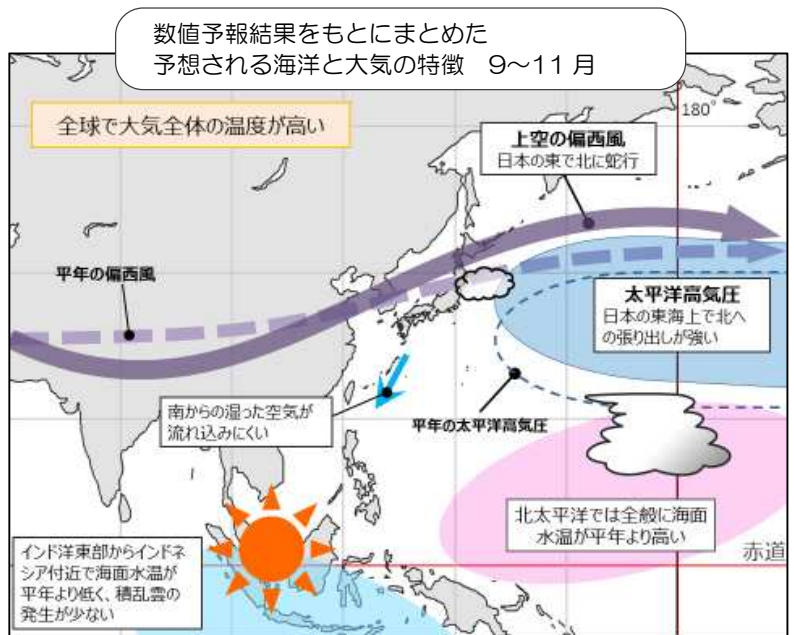
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量



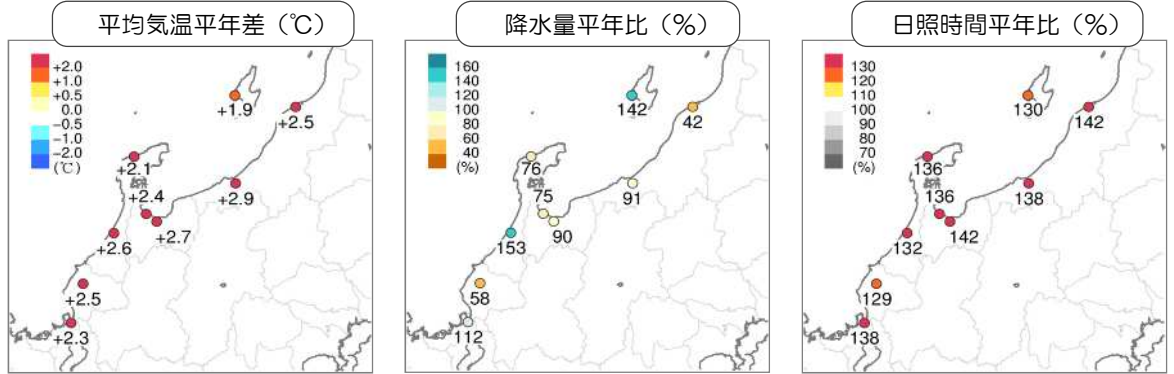
予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- インド洋東部からインドネシア付近では海面水温が平年より低く、積乱雲の発生が少ないでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸で南へ蛇行し、日本付近から日本の東で北へ蛇行するでしょう。
- これらのことから、北日本から西日本にかけては暖かい空気に覆われやすいでしょう。
- 太平洋高気圧は、日本の東で北への張り出しが強く、北日本太平洋側では、高気圧の縁を回った湿った空気が流れ込みやすいでしょう。
- 沖縄・奄美では、南からの湿った空気の影響を受けにくいでしょう。



今月の天候経過（実況） 8/1～20

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、日照時間はかなり多くなりました。
 中旬は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風第10号や前線の影響により雨が降り、大雨となった所がありました。
 また、上旬、中旬ともに暖かい空気に覆われたため、気温はかなり高くなりました。



(実況) 8/1～20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
北陸地方	+2.4℃	93%	136%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 9月	平均気温 10月	平均気温 11月
北陸地方	平年差：-0.3～+0.5℃	平年差：-0.4～+0.3℃	平年差：-0.3～+0.4℃	平年差：-0.2～+0.6℃
新潟	16.1～16.7℃	22.0～22.8℃	15.9～16.8℃	10.1～10.9℃

	降水量 3か月	降水量 9月	降水量 10月	降水量 11月
北陸地方	平年比：90～113%	平年比：68～121%	平年比：86～109%	平年比：93～106%
新潟	474.6～588.5mm	105.8～178.7mm	136.1～180.0mm	169.6～230.7mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	9月		10月		11月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
新潟	16.2日	11.7日	15.8日	14.2日	9.7日	18.0日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い）	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並か低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み